

令和2年3月19日

生徒の皆さんへ
保護者の皆様へ

京都市立塔南高等学校
校長 小野 恭裕

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う当面の教育活動等について

平素から、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた本校の臨時休業等の対応につきましては、3月4日付で「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休業期間の過ごし方について」及び「臨時休業期間中の健康管理について」の文書にてお知らせし、御家庭の御協力もいただきながら、実施に努めているところです。

終業式にあたり、当面の教育活動等につきまして、下記の通りお知らせ申し上げます。今後も、新型コロナウイルス感染症対策専門会議や国からの通知、京都市教育委員会からの指導等を踏まえながら対応してまいりますので、保護者の皆様におかれましては、お子様への指導に御理解と御協力をお願いいたします。

記

1 今回のお知らせの要点

- ① これまでお知らせしてまいりました対応を当面の間（春季休業期間中）継続し、原則登校禁止とします。（学習指導、進路指導、生徒指導等のために個別に登校を指示する場合を除きます。）部活動や校外での教育活動についても、当面中止します。
※指示により登校される場合には、まず、家庭で検温し、発熱している場合は御連絡ください。（なお、学校でも検温させて熱がないことを確かめます。）
※部活動等につきまして、今後何らかの指針・方針が示されました場合には、改めてホームページ等を通じてお知らせすることとします。
- ② 感染拡大防止のため、換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間（特に、カラオケボックス、ライブハウス、スポーツジムなど）に集団で集まることは避けてください。また、朝晩の検温や健康観察を継続してください。
- ③ 令和2年度第1学期当初については、原則、通常の実施する予定で準備を進めております。始業式は、感染拡大防止の対策を行った上で、4月9日（木）に実施する予定です。
- ④ 今後も状況に応じて予定が急に変更となる場合があります。本校のホームページで随時最新情報を確認してください。

2 自宅での生活について

- ① 免疫力を高めるため、十分な睡眠、バランスのとれた食事を心がけてください。また、運動不足やストレス解消等のため、適度な運動も行ってください。
- ② 手洗いが大切です。帰宅時や調理の前後、食事の前などにこまめに石鹸やアルコール消毒液などで手洗いを励行してください。

- ③ 咳などの症状がある場合は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにもウイルスが付着し、ドアノブ等を介して他の方に病気をうつす可能性がありますので、マスクやティッシュ・ハンカチ、服の袖を使って、口や鼻を押さえるなどの咳エチケットを行ってください。
- ④ 空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下しますので、御家庭でも、部屋を乾燥させないように気を付けてください。また、こまめに部屋の換気を行ってください。
- ⑤ 風邪症状がある場合は外出を控え、やむを得ず外出する場合には、できるだけマスクを着用してください。
- ⑥ 集団感染の共通点は、特に、「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間（特に、カラオケボックス、ライブハウス、スポーツジムなど）に集団で集まることは避けてください。
- ⑦ 持病がある場合は、公共交通機関の利用や人混みの多い場所を避けるなど、より一層注意してください。
- ⑧ 家で過ごす時間が長くなりますが、スマートフォンやゲーム機などを使い過ぎず、インターネットやSNSの危険から自分の身を守ることに留意してください。
- ⑨ 引き続き、健康状態の把握に努めてください。
 - ・毎日朝晩、お子様の体温を測定するなど、「健康観察票」（本校ホームページにあります）を活用し、健康観察を行ってください。
 - ・発熱等、風邪の症状があり、受診をされる場合は、事前に医療機関に電話等で相談してください。（相談の結果、通院される場合は、マスクの着用等、咳エチケットの徹底をお願いします。）
 - ・以下の症状がある場合は、帰国者・接触者相談センター（電話 075-222-3421、土・日・祝日を含む24時間対応）に御相談いただくとともに、学校へお知らせください。
 - 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上（※）続いている（解熱剤を飲み続けなければならないときを含む）
 - 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある
 - ※ 基礎疾患等があるお子様は、上の状態が2日程度続く場合
 - ・以下の場合、すみやかに学校へ連絡してください。
 - お子様は、検査などにより新型コロナウイルス感染症と診断された
 - お子様に感染の疑い（疑似症）があり、検査を受けるよう医師等から言われた
 - 御家族などが感染され、お子様や同居されている御家族が濃厚接触者として検査や経過観察が必要であると医師等から言われた
 - ・お子様が長時間自宅で過ごされること等により、精神的不調等の心配がある場合は、学校に御相談いただくか、次の窓口まで御相談ください。

こども相談24時間ホットライン 電話 351-7834

3 自宅での学習について

- ① 必ず学習時間を確保し、春季休業中の課題等に計画的に取り組んでください。
- ② 1年間の学習への取組を振り返り、これまでの学習内容の復習や新学年に向けた学習などに積極的に取り組んでください。
- ③ 補習や課題提出等を指示された場合は、必ず指定された日時に登校して、補習を受講したり課題を提出したりしてください。なお、その際は、学校でも検温を行います。